

## いしかわ里山塾（七尾班）

### ～里山オリエンテーリングを通じたふるさと教育～

団体名●地域スポーツマネジメント研究室／代表者名●西村貴之（人間科学部スポーツ学科准教授）

#### はじめに

この取組みは、「能登の里山里海」世界農業遺産活用実行委員会（事務局：石川県里山振興室）から本学地域連携センターへの委託事業「2020年度いしかわ里山塾」の一環として実施されたものである。七尾班では、本研究室所属3、4年次学生が中心となり、活動の企画・運営を行った。楽しみながら里山の新たな魅力を発見し、地元への愛を育んでもらいたいという思いでプロジェクトを立案した。主要連携団体は大吞グリーンツーリズム推進協議会、七尾市立東湊小学校、石川県里山振興室であった。

#### 活動内容

2020年度の取組みでは、東湊小学校5、6年生の児童と一緒に南大吞地区へ出かけ、里山を活用した体験活動に参加してもらった後に、ふるさと教育につながる出前授業を学生達が企画運営した。

##### (1)大吞自然オリエンテーリング

日時：2020年10月22日（木）

場所：七尾市南大吞地区内の里山

参加：東湊小学校5年生33名、6年生31名

本ゼミ学生15名、地元関係者3名

内容：南大吞地区内の里山の中にある自然の地形の活用や、グループでの協力が必要なオリエンテーリングを考案した。崖にロープを張った綱登り、大縄跳び、的あて、キーワード探しなど、自然の中でこども達が思いきり体を動かすことを楽しんでもらう機会を提供した。



オリエンテーリング①



オリエンテーリング②

##### (2)出前授業（事後学習会）

日時：2020年10月29日（木）

場所：七尾市立東湊小学校体育館

参加：東湊小学校5年生33名、6年生31名

教諭5名、本ゼミ学生7名、他関係者3名

内容：大吞自然オリエンテーリングに参加した児童と大学生が一緒になって、七尾のよいところ、課題、「あったらいいな」と思う未来の七尾について考え、イラストを描いて形にするワークショップを行った。



出前授業①



出前授業②

#### 成果、結果の考察

大吞グリーンツーリズム推進協議会では、これまでも大学生のフィールドワークを受け入れている。筆者も2020年度の取組みで継続5年目の交流となった。2018年度までは、学生が現地での滞在や体験を通じて見聞きしたことをまとめ、その報告によって地域への還元を行っていたが、2019年度からは地元小学校との連携が強化され、こども達の自然体験活動をとまなうプログラムへと深化できている。このことは、地元関係者、学校関係者からも歓迎されている。また、学生達にとっては、こども達に「教える」、「伝える」という行為が、得難い貴重な学びの機会となっている。

#### 今後の課題、展望

2021年度以降もこの取組みを継続することで、地元小学生が地元の魅力を再発見する機会を提供し続け、大学生を含め、未来を担う人材を育むための種をまき続けていきたい。